



市章

広報 えいな

発行・海老名市役所・海老名市国分155／編集・秘書広報課／電話・31-2111(代)／〒243

世帯と人口

昭和57年12月1日
 世帯 25,801世帯 (+69)
 人口 85,582人 (+260)
 男 43,918人 女 41,664人

毎月1日・15日発行



イノシシはカゼひく?

現在五か所ある市立保育園では、秋・冬、園児たちに乾布摩擦をさせています。写真の柏ヶ谷保育園でも毎日昼食後、園児たちがパンツひとつ姿で元気にゴシゴシ…。見ている方が寒くなりますが、子供たちは平気。同園では今年もカゼで寝込む子は皆無でしょう。



和と知のふれあい

海老名市議会議長 三田 洋

輝かしい新春を迎えるにあたり、市議会を代表して市民の皆様につづ込んで新年のごあいさつを申し上げます。

経済情勢の厳しさは去年と同様という見通しの中で、今、当市でも限られた財源のもとで多彩な市民要望を考慮し、苦心しながら新年度予算を編成しています。しかし、苦しいからと言って市民への大幅な負担軽減や市民サービスが低下するようなことは避けなければならず、そのためにも眞の行政改革が必要になります。

従来のように、国家目標に沿って行政を進める時代から個々の市民や地域が独自のビジョンをもつて個性ある都市造りを進めて行く時代へと大きく変化してきています。すなわち「地方文化の時代といわれた徳川時代」から「明治以後の中央文化百年の時代」を経て、今や「地方の時代」と言われる歴史の渦中にあります。

こうしたことを背景に、二十一世紀の到来に対応できる都市造りの核として、文化会館を充実させ、海老名運動公園建設に着手し、さらに本年は高齢化社会に対応して県下最大規模の老人福祉センター・社会福祉会館(仮称)が六月に完成される予定です。今後も生活環境の整備を始め図書館建設などの重要な課題が山積しており、私たち議会議員もさらに力を合わせ諸問題を慎重に審議し、市民の皆様のご期待に沿うよう努力する決意です。どうか市政ご理解ご協力を賜りますようお願いいたします。

調和ある近代都市へ



海老名市長 左藤 究

あけましておめでとうございます。よき新春をお迎えのことお喜び申し上げます。今年は亥(い)年。イノシシはその勇猛さで知られていますが、どこか憎めない風貌(ぼう)を持った動物です。多産で活力に満ちた感じを受けるためか、古来、旧暦十月の亥の日にもちを食べ、子孫繁栄と無病のまじないとする「亥の子」という行事もあるそうです。

街から眺める街の様子も年ごとに変りつつあります。豊かな自然と近代都市としての諸要素が調和したまちを目指す第二次総合計画も今年は実質的に二年目を迎えます。六月以降には市老人福祉センター・社会福祉会館(仮称)の屋上でゲートボールに興じる人々の姿が見られるはずです。また、みなさんの关心を集めている海老名駅前中心街については、その中央部分に造られる「海老名中央公園」が十月には完成する予定です。さらに、「海老名運動公園」内の野球場も今年中にオープンの運びです。今年も経済情勢は非常に厳しく、限られた財源をいかに効率的に活用するかが大きな課題であり、これについては最大公約数を取る形の重点競選主義を貫かなければなりません。発展途上の都市なるが故の問題点も多々あるうかと思いますが、ご理解とご協力をいただければ幸いです。

市民のみなさんの本年のご繁荣とご健勝を祈念いたします。

